



「かかと」ってどこ??



自分のかかとを触ってみよう。ちゃんと場所はわかるかな？ 国立科学博物館には様々な動物たちの標本があります。見つけた動物において「人のかかとにあたる部分」はどこか考えながら見学してみよう。

地球 館

1 階

22

サイズへの挑戦



1

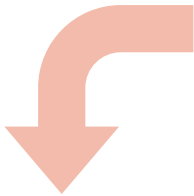
「かかと」を探せ！！

あなたならどうやって動物のかかとの位置を特定するかしら。



かかとはどこか？ そのように考えた理由を書いてみよう！

わしのかかとはどこかわかるかな？



地球

館

1

階

22

サイズへの挑戦



2

「かかと」ってどこ？

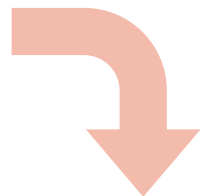
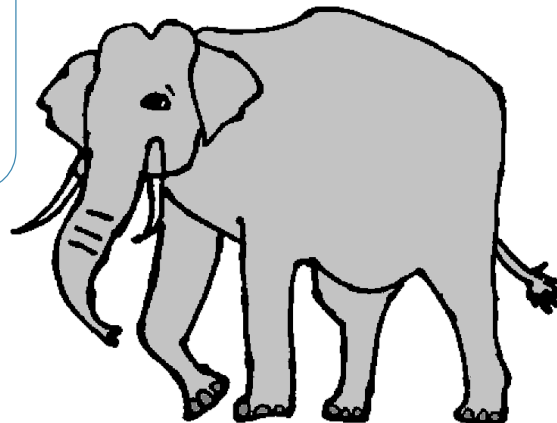
骨格からかかとを特定するにはどこに注目すればいいかな。



「かかと」はどこか？ 骨格を見て2つのイラストに○をつけよう！



わたしたちの「かかと」はどこでしょう？





## 3

## オオミユビトビネズミで考えよう！！

左と右の標本を比較して「かかと」を特定する方法を見つけ出そう！！

かかと周辺の骨格のつくりはどうなっているかしら。



「人のかかとにあたる部分」を特定するには何に注目すればよいかわかったかな？他の動物でチェック！



感じたこと

わかったこと

考えたこと

シカと人間、それぞれの「かかと」がどこかもう説明できるかな



実際に動いている動物でも見てみよう



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年

組

番

氏名



動物ってオシャレ？



洋服やアクセサリーなど、人間はファッションに気を遣う場面も多くあります。さて、動物もオシャレをしているのかな？見た目の変化の理由を見つけてみましょう！！

テンは季節で見た目に違いがあるみたいじゃ！



日本

館

2階

Ⅲ13

雪を味方に生きる



1

見た目の違いを探せ！！



Q1. 2匹のテンの見た目の違いはどこか？

Q2. なぜ違いがあるのか？

ぼくが2匹いるよ～  
さあ、比べてみよう！



日本

館

2階

Ⅲ13

雪を味方に生きる



2

違いを表現してみよう！！



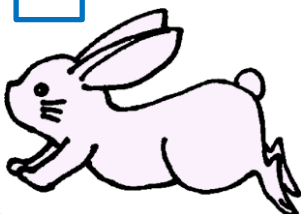
Q3. 「違い」を絵で表現しよう！



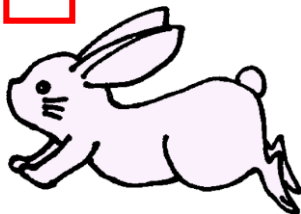
Q4. ウサギの見た目が変化するのはなぜ？

私たちの色を ぬったり してみよう！！  
文字で書いたり

冬



夏



季節によってウサギの見た目が変わるの  
は面白いですね！





3

どうしてからだの大きさが違うのだろうか？

日本列島の北と南で環境に違いがあるわ。同じなかまの動物で比べてみよう。



シカとイノシシの北と南のからだの大きさに着目して特徴を書きだそう

シカ		イノシシ	
北	南	北	南



シカとイノシシの北と南のからだの大きさにそれぞれの違いがあるのはなぜか？



動物の特徴の違いはどのような意味があるのか考えてみよう



感じたこと

わかったこと

考えたこと



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年

組

番

氏名



## 人間と動物って仲よし？

現在では動物は家族同然で人間と生活を共にしている家庭も多い。そんな動物はいつ頃から人間と生活するようになってきたのか。現在までの経緯を考えてみよう！！

渋谷で待ち合わせと言えばハチ公の像を使う人も多いのではないだろうか。映画にもなったハチについて調べよう。



日本

館

2

階

IV13

日本人が育んだ生き物たち



1

### 犬にとって人間はどんな存在か？



なぜ「ハチ」は有名になったのか？

ぼくが何と呼ばれているか知っているかな？



日本

館

2

階

IV13

日本人が育んだ生き物たち



2

### 他にも人間と関わりのある動物を探せ！！



ウシやネズミなどの動物は人間とどのように関わってきたか？

家庭で生活している動物とは異なる形で人と関わってきた動物を知ろう！！



地球

館

2階

IV13

日本人が育んだ生き物たち



3 人間にとって動物、動物にとって人間はどんな存在か？



動物にとって人間とはどんな存在だったのか動物の気持ちになって考えよう。



人間と動物の関わり方を知ってこれからのお互いの在り方について考えてみよう



感じたこと

わかったこと

考えたこと



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年

組

番

氏名



科博といったらクジラでしょ～！！

地球館1階には、鹿児島県に漂着したマッコウクジラの全身骨格標本があるよ。ここにある標本と比較してみよう。



地球館

館

B2階

23

水に戻った四肢動物



1

クジラの祖先はどのような泳ぎ方をしていたか



天井につる下げられて展示されている2種類の骨格標本を正面から観察してみよう。骨格から見られる体のつくりから、どのように海洋中を泳いでいたと想像できるか。

左の標本

右の標本



なぜ、そのように考えたのか、理由もあわせて書こう。

地球館

館

B2階

25

水の中での収斂適応



2

クジラに見られる後肢の退化



クジラの祖先はどんな動物だったと考えられているか。

5000万年前は、海牛とクジラはまだ陸にいたのですね。海牛（かいぎゅう）とはジュゴンやマナティなどの仲間のことです。



収斂（しゅうれん）進化とは、それぞれ違った分類に属する生物が、生息している地域や時代などが全く違うにもかかわらず、生態系で同じような地位におかれたとき、同じような外見や生態をもつ進化のことを言います。



外

1 階

出口正面

シロナガスクジラ



3

シロナガスクジラはどれぐらいの大きさ？

シロナガスクジラは口に櫛のような構造があり、丸のみした海水をこしとることで、プランクトンを体の中に取り込んでいるそうです。



出口を出たところに、地球最大の生物であるシロナガスクジラの原寸大の模型があります。その大きさを体感し、どのぐらいなのか予想してみよう。また、この模型はどのような行動を表しているのだろうか。

( ) mぐらい。



出口を出たところにある展示の解説で印象に残ったことをメモしよう。



シロナガスクジラは海洋のプランクトンを食べています。どれぐらいの量を1日で食べているのか考えてみよう。



クジラが絶滅せずに生き残っていくためには、どのような海の環境が必要だろうか。



感じたこと

わかったこと

考えたこと



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年

組

番

氏名